

# ジェンダーから見た現代社会

ジェンダーとは、生物学的な性=セックスに対して、社会・文化的に構成された性のことです。本セミナーでは、日常生活や社会の様々な現象をジェンダーの視点から問い直す過程で、文献の検索方法、レジユメの作成方法、発表や討議の方法などの基礎を身に着けることをねらいとします。

## Index

### I. 起点となる図書を読もう1

まずはジェンダーについての基礎知識を身につけよう。

### II. テーマを決めよう: 言葉の意味確認と展開

教科書や参考図書でジェンダーの基礎を学んだら、いよいよテーマを決めての調査！テーマを決める際に(そして、調査中にも)心掛けてほしいことを紹介します。

### III. 図書を探そう

図書館で本を探してみよう。

### IV. 雑誌を探そう

雑誌記事データベースを使ってみよう。

### V. 新聞記事を探そう

新聞記事データベースを使ってみよう。

### VI. インターネットを活用しよう

調査を行う際、インターネットを使う人も多いはず。そこで、インターネットを使って調査を行う際の注意点などを復習しよう。

### VII. 各種統計の案内

ここでは各種統計資料を紹介します。

### VIII. グループワークをしよう

グループワークを成功させるために、いろんな資源を活用しよう。

### IX. 情報を加工し、外に伝えよう

見つけた情報とそこから得た考察を上手にアウトプットする方法を学ぼう。

### X. 情報を加工し、外に伝えよう Part2

レポートやプレゼンテーションとは違う形のアウトプットを考えてみよう

科目名: 基礎セミナーA、基礎セミナーB

講師: 窪田由紀

# 1. 起点となる図書を読もう1

まずはジェンダーについての基礎知識を身につけよう。

ここでは、教科書とともに読めばジェンダーをよりよく理解できる参考書を紹介します。調査するテーマを考えるために、まずはジェンダーについての基礎知識を身につけましょう。



図書(の章  
節)

**タイトル** 女性とジェンダーの心理学ハンドブック  
**著者名** R.K. アンガー編著；日本心理学会ジェンダー研究会訳  
**リンク先** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01443346&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01443346&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01443346&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01443346&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**ひとこと紹介** 中央学3F 143.5||U 資料ID:11461987  
 教育和書 143.5||Ung 資料ID:11462834



図書(の章  
節)

**タイトル** ジェンダーで学ぶ教育  
**著者名** 天野正子, 木村涼子編  
**リンク先** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01350467&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01350467&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01350467&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01350467&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**ひとこと紹介** 情報・言語 370.4||A 資料ID:11422706 他



図書(の章  
節)

**タイトル** ジェンダーで学ぶ社会学  
**著者名** 伊藤公雄, 牟田和恵編  
**リンク先** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01686436&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01686436&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01686436&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01686436&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**ひとこと紹介** 中央学3F 361.04||I 資料ID:11566923 他



図書(の章  
節)

**タイトル** レクチャージェンダー法  
**著者名** 犬伏由子, 井上匡子, 君塚正臣編  
**リンク先** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03119617&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03119617&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03119617&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03119617&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**ひとこと紹介** 中央学3F 367.1||I 資料ID:11789176

## ムーブ叢書 ジェンダー白書

『ムーブ叢書 ジェンダー白書』は、北九州市立男女共同参画センター・ムーブが、北九州という一地域から情報発信をするメディアです。男女共同参画社会の形成を推進する上で、いま、何が緊急な課題なのか。国の動き、世界の動き、そして地方自治体の動きを視野に入れつつ、その解決の糸口を、様々な分野の専門家が学術的に探求し、提示します。



図書(の章  
節)

**タイトル** 女性に対する暴力  
**著者名** 北九州市立男女共同参画センター"ムーブ"編  
**リンク先** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01304340&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01304340&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01304340&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01304340&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

節) **ひとこと紹介** 国際開発 367.1||Ki 資料ID:11411381



図書(の章節)

**タイトル** 女性と労働  
**著者名** 北九州市立男女共同参画センター"ムーブ"編  
**ひとこと紹介** 名大図書館での所蔵はありません。(2012年5月現在)  
 利用を希望される場合は、ILLでの取り寄せ等をご利用ください。



図書(の章節)

**タイトル** 女性とメディア  
**著者名** 北九州市立男女共同参画センター"ムーブ"編  
**ひとこと紹介** 名大図書館での所蔵はありません。(2012年5月現在)  
 利用を希望される場合は、ILLでの取り寄せ等をご利用ください。



図書(の章節)

**タイトル** 女性と少子化  
**著者名** 北九州市立男女共同参画センター"ムーブ"編  
**ひとこと紹介** 名大図書館での所蔵はありません。(2012年5月現在)  
 利用を希望される場合は、ILLでの取り寄せ等をご利用ください。



図書(の章節)

**タイトル** 女性と経済  
**著者名** 北九州市立男女共同参画センター"ムーブ"編  
**ひとこと紹介** 名大図書館での所蔵はありません。(2012年5月現在)  
 利用を希望される場合は、ILLでの取り寄せ等をご利用ください。



図書(の章節)

**タイトル** 女性と健康  
**著者名** 北九州市立男女共同参画センター"ムーブ"編  
**リンク先** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03117999&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03117999&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03117999&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03117999&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**ひとこと紹介** 中央学3F 367.1||Ki 資料ID:11789010

## ジェンダー研究のフロンティア <全5巻>

本シリーズはお茶の水女子大学21世紀COEプログラム「ジェンダー研究のフロンティア」での5年間にわたる共同研究の成果をまとめたものです。



図書(の章節)

**タイトル** 国家/ファミリーの再構築：人権・私的領域・政策  
**著者名** 戒能民江編著  
**リンク先** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01825807&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01825807&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01825807&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01825807&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**ひとこと紹介** 中央学3F 367.1||Ka 資料ID:11626167  
 情報・言語 367.1||Ka 資料ID:11725945



図書(の章節)

**タイトル** 国際移動と「連鎖するジェンダー」：再生産領域のグローバル化  
**著者名** 伊藤るり, 足立眞理子編著  
**リンク先** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01830243&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01830243&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01830243&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01830243&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

ひとこと紹介 中央学3F 367.1||I 資料ID:11628748  
情報・言語 367.1||I 資料ID:11725946  
情報・言語 367.1||I 資料ID:11751734 他



図書(の章  
節)

タイトル 少子化とエコノミー：パネル調査で描く東アジア  
著者名 篠塚英子, 永瀬伸子編著  
リンク先 [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01829123&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01829123&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01829123&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01829123&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
ひとこと紹介 中央学3F 367.1||Si 資料ID:11627796  
情報・言語 367.1||Si 資料ID:11725947



図書(の章  
節)

タイトル テクノバイオ・ポリティクス：科学・医療・技術のいま  
著者名 舘かおる編著  
リンク先 [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01829124&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01829124&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01829124&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01829124&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
ひとこと紹介 中央学3F 367.1||Ta 資料ID:11627797  
情報・言語 367.1||Ta 資料ID:11725948



図書(の章  
節)

タイトル 欲望・暴力のレジーム：揺らぐ表象/格闘する理論  
著者名 竹村和子編著  
リンク先 [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01825808&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01825808&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
**URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01825808&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01825808&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)  
ひとこと紹介 中央学3F 367.1||Ta 資料ID:11626168  
情報・言語 367.1||Ta 資料ID:11725949

## 2. テーマを決めよう: 言葉の意味確認と展開

教科書や参考図書でジェンダーの基礎を学んだら、いよいよテーマを決めての調査！テーマを決める際に(そして、調査中にも)心掛けてほしいことを紹介します。

### 辞書を活用しよう

教科書や参考書を読んでいると、必ず意味がよくわからない言葉が出てくるはずです。言葉の意味が曖昧なままテーマを決め、調査を行うと思わぬ不具合が出て、調査に支障をきたす可能性があります。たとえ面倒でも辞書などを活用して、言葉の意味を確認しましょう。



タイトル Japan Knowledge+

リンク先 URL [http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db\\_details.html](http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html)

インターネット・DB

ひとこと紹介

「日本大百科全書」「日本国語大辞典」「現代用語の基礎知識」「imidas」「Encyclopedia of Japan」ほか英和・和英辞典等をオンラインで検索できます。同時アクセス数は4。使い終わったら必ず[ログアウト]してください。



タイトル 現代用語の基礎知識

著者名 自由国民社編

ひとこと紹介 中央図書館2階(参考図書)で所蔵しています。請求記号:813.7||G

### ジェンダー関連の白書・事典

事典には特定の分野に特化したものがありますし、各分野の統計や動向を載せた白書もあります。

このような資料も、テーマを決める際や調査中に必要に応じて活用して下さい。



タイトル 女性白書

著者名 日本婦人団体連合会編

リンク先 URL [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbi.do?pkey=WS01093584&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbi.do?pkey=WS01093584&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

図書(の章節)

ひとこと紹介

各種統計に加え、年表形式で一年間の出来事を追えます。  
教育参考 367.21||Nih 2000-2011+  
情報・言語 367.21||N 2005-2011+ 他

### 言葉の発想を広げよう

教科書や参考図書に興味を持ったキーワードには、**同義語**、**上位語**、**下位語**、**関連語**などがあります。

テーマを決める際には、このようなことも考慮することで、自分が調べたいことをより明確にできるかもしれません。

また、これらの用語を調べてみると、資料を探す際にも役立つことがあります。

例えば、「女性行政」について見てみると...

同義語 (UT=Used For)	男女共同参画行政、婦人行政
上位語 (BT=Broader Term)	行政
下位語 (NT=Narrower Term)	女性教育行政、地方女性行政、婦人保護事業
関連語 (RT=Related Term)	女性センター、男女平等条例、ジェンダーの主流化、ジェンダー分析、ジェンダー予算、フォーカル・ポイント、基本計画、国内本部機構

といった用語が関連していることが分かります。(女性情報シソーラスより抜粋)

このような、同義語、上位語、下位語、関連語を調べるのに役立つのが**シソーラス**です。

シソーラスは、上位/下位関係、部分/全体関係、同義関係、類義関係などによって単語を分類し、体系づけた特殊な用語集(統制語彙集)です。

ここでは、ジェンダーに関連するシソーラスを2つ紹介しますので、興味がありましたら一度ご覧になって下さい。



**タイトル** 女性情報シソーラス

**リンク先 URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01874831&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01874831&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

図書(の章  
節)

**ひとこと紹介** <http://winet.nwec.jp/database/page08.php>で見ることができます。  
中央参 367.03||Z 資料ID:11658062



**タイトル** 婦人教育シソーラス

**著者名** 国立婦人教育会館編

**リンク先 URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=TW50034207&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=TW50034207&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

図書(の章  
節)

**ひとこと紹介** 中央参 379.46||H 資料ID:20061779

## 3. 図書を探そう

図書館で本を探してみよう。

一口に図書を探すといっても、図書館で図書を探すにはいくつかの方法があります。様々な方法を知ること、効率的かつ効果的に図書を見つけましょう。

### OPACを使おう

まずは、OPACを使った検索をマスターしましょう。これからの大学生活において、OPACを使用する機会は多々あることですので、早めに慣れて下さい。

(使い方に困ったら、名大図書館HPのガイドシートやOPACのHELPを参照、もしくは図書館員に尋ねてください)

ガイドシート

[www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/gsheets/index.html](http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/gsheets/index.html)

アドバイス

OPACでキーワード検索をする際に、検索結果が多すぎる、または少なすぎるということがあると思います。そんな時は**論理積(AND)**・**論理和(OR)**・**論理差(NOT)**や2.で紹介した**上位語**・**下位語**などを上手に使いましょう。

例えば...

検索結果が少なすぎる→論理和(OR)を使う、上位語を使って検索範囲を広げる

検索結果が多すぎる→論理積(AND)や論理差(NOT)を使う、下位語を使って検索範囲を絞る

検索結果が0件→別の同義語で再検索

という風に検索語or検索条件を変えてヒット件数を調整するようにしましょう。

\* **論理積(AND)** 検索＝二つ以上の検索値を同時に満たす資料を検索。

OPACでの入力方法:言葉の間を“ ”(空白)でつなぐ。 例:タイトルに「日本」と「アメリカ」の両方が含まれる資料を検索する場合 → タイトル:「日本 アメリカ」

\* **論理和(OR)** 検索＝二つ以上の検索値のどれかひとつでも満たす資料を検索。

OPACでの入力方法:言葉の間を“+”(プラス記号)でつなぐ。 例:タイトルに「日本」か「アメリカ」のいずれかが含まれる資料を検索する場合 → タイトル:「日本+アメリカ」

\* **論理差(NOT)** 検索＝ある条件を満たす資料のうち、ほかの条件に該当するものを除いた資料を検索。

OPACでの入力方法:言葉の間を“^”(ハット記号)でつなぐ。 例:タイトルに「日本」が含まれるが「アメリカ」が含まれない資料を検索する場合 → タイトル:「日本^アメリカ」



インターネット・DB

タイトル OPAC(名古屋大学蔵書検索)

リンク先 URL <http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac>

ひとこと紹介

- ・名古屋大学の蔵書を調べることができます。
- ・調べ方がわからない時は、ガイドシート(OPACやデータベースの使い方)もあります。

## 直接書架を探そう

名大の図書館では日本十進分類法(NDC)に従い、**主題ごと**に図書が配架されています。

(一部部局図書室では別の形で配架しているところもあります)

ですから、探したい図書が具体的に決まっていなくても、自分が探したい主題が決まっていれば、自分の目的に合う本を書架に直接探しに行くこともできます。

また、OPACで資料を特定して書架に行く際もその図書の周りを見てみると、他にも自分の目的に合う図書が見つかるかもしれません。

書架で図書を探すことは**セレンディピティ**(探しているものとは別の価値あるものを見つける能力)を養うことにもなります。

ジェンダーに関連する主題では以下のものが一例として考えられます。

分類番号	分野
366.38	婦人労働
367.1及び367.2	女性論、女性史 →ジェンダー関連の資料がそろっています。
369.25	婦人福祉
289.1	個人伝記(日本) →ジェンダーの分野に関連する人物の伝記もあります。

この分類以外にもあちこちに関連する本が配置されています。

## アドバイス

調査の際に確認した資料はメモしておく癖をつけましょう。**その時は必要ないと思っても、後からその資料が必要になることはよくあります。**その時になって「資料の名前が思い出せない！」なんてことにならないようにするためにも調査の際のメモは大切なことです。

## Ex.名大以外で所蔵している資料を探す



自分のテーマにあった資料が見つからないという時には、大学の外にも目を向けてみましょう。必要があれば、ILLで資料を取り寄せる、紹介状をもらって資料を見に行くといったこともできます。

こういったことをしたい場合は、一度図書館にご相談ください。

■ **NDL-OPAC**

国立国会図書館が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースです。  
名古屋大学の図書と雑誌を探すことができます。

■ **Webcat Plus**

全国の1,000以上の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースを、日本語の図書の  
内容・目次データから検索できます。

「連想検索」システムで、検索ごとに関連ワードが表示され、検索枠を広げていくことができます。

名古屋大学が所蔵していない場合は、取り寄せる事ができます。所属別申し込み一覧 をご覧下さい。

■ **愛蔵くん(愛知県内図書館 横断検索)**

愛知県内の市町村立図書館等の所蔵を一括検索できます。

大学図書館よりも、より平易な一般書の所蔵が多くなっています。

## 4. 雑誌を探そう

雑誌記事データベースを使ってみよう。

### 一般誌から記事を探そう

まずは、一般誌からジェンダー関連の記事を探してみましよう。一般誌の記事を探すなら大宅壮一文庫雑誌記事索引検索がお勧めです。ぜひ一度使ってみてください。



インター  
ネット・DB

**タイトル** 大宅壮一文庫雑誌記事索引検索 **Web版** (学内限定)

**リンク先 URL** <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbjapanese.html#oya>

**ひとこと紹介** 豊富な内容とユニークな切り口で知られる、雑誌専門図書館・大宅壮一文庫の雑誌記事索引の**Web版**です。週刊誌、総合月刊誌、女性誌など現代ジャーナリズムの最先端をいく「マガジン」の記事情報が検索できます。**1988年以降最新まで、約400誌**から採録。学内限定で、同時アクセス数は**1名**です。

### 発展: 論文を探す

自分のテーマについて、論文も探してみたいという人は、手始めに**CiNii**を使ってみてください。

今後、卒業論文を書いたりする際などに、必ず論文の調査を行うこととなりますから、今のうちから論文を探すことに慣れておくのも大切です。



インターネッ  
ト・DB

**タイトル** CiNii Articles (サイニイ) (一部の本文は学内限定)

**著者名** 国立情報学研究所

**リンク先 URL** <http://ci.nii.ac.jp/>

**ひとこと紹介** 国内で刊行された雑誌記事を探することができます(主に学術雑誌・大学紀要・学会誌)。一部の雑誌については、論文全文をダウンロードし閲覧することができます。**NULink**が利用できます。

## 5.新聞記事を探そう

新聞記事データベースを使ってみよう。

新聞記事を探すには、データベースを使うのが便利です。名大では様々な新聞記事データベースを見ることができますので、この機会に使ってみましょう。



インターネット・DB

**タイトル** 中日新聞・東京新聞記事データベース

**リンク先 URL** [http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db\\_details.html#CHU](http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html#CHU)

**ひとこと紹介** 中部地方の情報をくまなくカバーする中日新聞(1987～)のデータベース。学内限定、同時アクセス数は1名です。終了したら必ず[ログアウト]ボタンを押してください。



インターネット・DB

**タイトル** 日経テレコン21

**リンク先 URL** [http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db\\_details.html#NK21](http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html#NK21)

**ひとこと紹介** 日経4紙『日本経済新聞』、『日経産業新聞』、『日経流通新聞MJ』、『日経金融新聞』の全文記事データベース。学内限定、同時アクセス数は2名です。終了したら必ず[ログアウト]で終わってください。



インターネット・DB

**タイトル** 聞蔵Ⅱビジュアル

**リンク先 URL** <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#KIKUZO2>

**ひとこと紹介** 朝日新聞のオンライン記事データベースです。創刊(1879年)からの記事を検索できます。AERA(1998年5月(創刊号)-)、週刊朝日(2000年4月-ニュース面)、現代用語「知恵蔵」最新版も検索できます。学内限定です(同時利用可能ユーザー数は1名)。必ず、[ログアウト]ボタンで終わってください。

## 6. インターネットを活用しよう

調査を行う際、インターネットを使う人も多いはず。そこで、インターネットを使って調査を行う際の注意点などを復習しよう。

### インターネットを活用する際の注意点!!

\*ここで取り上げるのはデータベース等を含まない、一般的なWebページに関する注意点です。

調べ物をする際、インターネットは大変便利なツールです。YahooやGoogle等で検索をかければ欲しい情報がすぐに手に入ることも多いでしょう。

しかし、インターネット上の情報は、

1. 情報の質は玉石混交であり、情報の責任所在が特定できないことが多い
2. 絶えず更新されている

といった点から、調査の情報源としては図書などに比べ、不安定かつ信頼性に欠けるということを、まずは覚えておいてください。

まず、1. 情報の質は玉石混交であり、情報の責任所在が特定できないことが多いですが、インターネット上に存在する情報には信頼のおけるものもたくさんありますが、それと同時に根拠のない情報も多数存在します。また、例えばWikipediaには様々な情報が収められていますが、その情報を書き込んだ人が誰なのか知ることはできません。つまり、収められている情報に対して、責任を負う人物がわからないということです。研究や調査において、**誰が発信したか分からない情報はたとえ正しいと思われるものでも認められません。**

ただし、研究・調査において、インターネットを使用してはいけないということはありません。先ほど例に挙げたWikipediaにしても調査の起点としたり、研究を展開していく際に一つの方策として使用するのも間違っていないと思います。ただし、インターネットを調査に使用する際は、

**情報が信頼できるものか見極める** (例えば、官公庁のホームページにある公表資料の情報等は責任所在が明確な分、信頼性が高いと言えるでしょう)

**図書などの責任所在が明確な情報元で必ず確認を取る**

といったことを必ず行うようにしましょう。

2. 絶えず更新されているに対する問題点としては、確認時点では確かにその情報にアクセスできたとしても、その後ページが更新されてその情報にたどり着けなくなってしまうといったことが考えられます。調査の情報源としてインターネット上の情報を用いた際には**ホームページのURLだけでなく、その情報をいつ確認したのかということを記録しておく**ことも忘れないでください。

### ジェンダー関連サイトの紹介

それでは、一通りの注意点を述べたところで、ジェンダー関連の調査で役立つ(かもしれない)Webサイトをいくつか紹介します。



インターネット・DB

タイトル 内閣府男女共同参画局  
リンク先 URL <http://www.gender.go.jp/>

ひとこと紹介

「関連サイト」のページからは関係省庁及び国際機関へのリンクがあり、便利です。

「関連サイト」ページのURL

[http://www.gender.go.jp/main\\_contents/kanren\\_link.html](http://www.gender.go.jp/main_contents/kanren_link.html)



インターネット・DB

タイトル 女性就業支援バックアップナビ  
著者名 女性就業支援センター  
リンク先URL <http://www.joseishugyo.go.jp/>



インターネット・DB

タイトル 独立行政法人 国立女性教育会館  
リンク先URL <http://www.nwec.jp/>

## 7.各種統計の案内

ここでは各種統計資料を紹介します。

### 統計資料を探す時は

まず、統計資料を探す時は探している主題の棚だけでなく、請求記号の**350(統計)**の周辺や**参考図書**の棚も見るようにしましょう。

また、統計資料でなくても、それぞれの本の中で様々な統計が図表や参考資料として掲載されていますので、**自分の目的にあった統計が載っていないか書架で様々な本を手にとって中を確認**してみてください。

それでは、ここからはジェンダーにかかわる統計資料をいくつか紹介していきたいと思います。

### ジェンダー関連全般の統計資料

全般の統計資料としては、**男女共同参画白書**などがあります。仕事、暴力、健康(人工中絶等も含む)などの様々な状況・実態が掲載されています。冊子体のものは中央館の参考図書コーナーにありますし、ホームページでも閲覧できます。

また、**女性白書**にも労働や政治等への参画に関する統計が掲載されています。



図書(の章  
節)

**タイトル** 男女共同参画白書：男女共同参画の現状と施策：男女共同参画**2000**年プランに関する報告書 /

**著者名** 総理府編→内閣府 (平成13年版-)

**リンク先 URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=ZW91000029&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=ZW91000029&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

**ひとこと紹介** 中央館参考 (1998-2012)10-24+ 請求記号:367.21||So  
教育参考 (1998-2012)10-24+ 請求記号:367.21||Nai



インターネット・DB

**タイトル** 男女共同参画局 男女共同参画白書

**リンク先URL** <http://www.gender.go.jp/whitepaper/whitepaper-index.html>



図書(の章  
節)

**タイトル** 女性白書

**著者名** 日本婦人団体連合会編

**リンク先 URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WS01093584&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WS01093584&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

**ひとこと紹介** 各種統計に加え、年表形式で一年間の出来事を追えます。  
教育参考 367.21||Nih 2000-2011+  
情報・言語 367.21||N 2005-2011+ 他

## ストーカー、DV、風俗関連事犯等

まずは、ジェンダーが背景にかかわる事件系統の統計です。

例えば、警察庁のホームページには以下のような統計が出されています。

「平成23年中における風俗関係事犯の取締り状況等について」

「平成23年中のストーカー事案及び配偶者からの暴力事案の対応状況について」

「平成23年中における人身取引事犯について」

また、内閣府男女共同参画局の**女性に対する暴力に関する専門調査会**のページにもさまざまな報告書が掲載されています。



タイトル 警察庁

リンク先  
URL <http://www.npa.go.jp/>

インターネット・DB ひとつこと紹介 統計関連は「白書・統計」→「警察白書」及び「統計(の中の「生活安全の確保に関する統計等」)」を参照



タイトル 内閣府男女共同参画局 女性に対する暴力に関する専門調査会  
リンク先URL <http://www.gender.go.jp/danjo-kaigi/boryoku/index-bo.html>  
ひとつこと紹介 専門調査会報告書等を見て下さい。

インターネット・DB

## 諸外国の統計

諸外国の統計では、「**世界の女性**」という資料があります。

「世界の女性」は名大内ですと法学図書室に**2005年版**が、国際開発図書室に**2000年版**があります。

(残念ながら最新のものである**2010年版**は名大内にはありません)

ただ、**United Nations Statistics Division**のホームページで原文(英語)の**2010年版**を読むことはできます。

興味のある方は試してみてください。



タイトル 世界の女性：その実態と統計

著者名 国際連合原著；日本統計協会訳

リンク先 URL [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=TW50067218&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=TW50067218&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

図書(の章  
節)

ひとつこと紹介 法学図書室 2005年版 請求記号:362||K829||大型 資料ID:11569484  
国際開発図書室 2000年版 請求記号:367.2||U||2000 資料ID:11356129

## 8. グループワークをしよう

グループワークを成功させるために、いろんな資源を活用しよう。

### ラーニング・コモンズを活用しよう

中央館2階には**ラーニング・コモンズ**というグループワークを行える空間があります。

「グループワークをしたいけど、適当な場所がない」という時にはうってつけですし、図書館の中にあるので話し合いをしながら必要な資料を見に行くこともできます。

この機会にぜひ一度ラーニング・コモンズを利用してみて下さい。

Nagoya University Library LEARNING COMMONS ホームページ

[lc.nul.nagoya-u.ac.jp/](http://lc.nul.nagoya-u.ac.jp/)

### グループワークで困ったら...

グループワークは多人数で行うものですから、なかなか意見がまとまらなかったり、困ることも出てくるでしょう。

そういう時は下記のような資料を読んでみましょう。うまくいかない状況を打破する糸口が見えてくるかもしれませんよ。

その他、請求記号**375.13**あたりには学校でのグループ学習や共同学習が主題の資料が置いてありますし、**379.6**には集団学習の本があります。

また、**809.6**にはディベートや討論関連の資料がありますので、必要に応じて参考にして下さい。



図書(の章節)

タイトル グループワーク入門：あらゆる場で役に立つアイデアと活用法  
著者名 ロナルド・W・トーズランド, ロバート・F.ライバス著；福島喜代子 [ほか] 訳  
ひとこと紹介 中央学3F 369.16||To 資料ID:11457123



## 9. 情報を加工し、外に伝えよう

見つけた情報とそこから得た考察を上手にアウトプットする方法を学ぼう。

### レポートを書こう(文章によるアウトプット)

レポートを書くというのは、思いのほか難しいものです。論理的で説得力があり、さらに読みやすいレポートの作成方法は一朝一夕で身に付くものではありません。

ここでは、まず2冊の資料を紹介しますが、名大には他にもたくさんレポートの書き方を解説した資料があります。

一度図書館に足を運んで、資料の中身を確認して、**自分に合った資料**を見つけて下さい。

なお、レポート関連の資料は書架の**816**の辺りや**中央館2階のライティング関連資料**のところにあります。



図書(の章  
節)

**タイトル** これからレポート・卒論を書く若者のために

**著者名** 酒井聡樹著

**リンク先** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01732632&](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01732632&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

**URL** [initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01732632&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

**ひとこと紹介** レポートや卒論を書いたことがない人向けに書かれている。レポート・卒論とはどんなものか? 内容はどのようにやって組み立てて、書き方にはどんな作法があるのか? といったことがわかる。



図書(の章  
節)

**タイトル** 論文の教室: レポートから卒論まで

**著者名** 戸田山和久|著

情報科学研究科戸田山教授によるレポート執筆指南書。

**ひとこと紹介** 名大の授業で参考書として紹介されることも多い、読みやすい解説書です。中央学3F 816.5||T ほかに学内に多数所蔵があります。

### プレゼンテーションをしよう(口述によるアウトプット)

皆さんはこれから、大学の講義等でプレゼンテーションをする機会が多々あることでしょう。

人前で話すというのは誰しも緊張するものですし、初めからうまくできるというものではありません。

これから紹介する資料などを参考に、効果的なプレゼンテーションのやり方、プレゼン資料の作り方を覚えていきましょう。

また、**336.49**辺りにもプレゼン関係の資料がいろいろありますので、探してみましょう。

(レポートの時と同様に自分にとって使いやすいと感じる資料を探して、使用するようにしましょう)



図書(の章  
節)

**タイトル** 良いプレゼン悪いプレゼン: わかりやすいプレゼンテーションのために

**著者名** 後藤文彦 著

**リンク先** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03016563&](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03016563&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

**URL** [initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB03016563&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

伝わりやすい話し方、「1分1枚」「レーザーポインターよりは指し棒」など著者の経験に基づく具体的なアドバイス。  
著者のウェブページの書籍化。  
中央学3F 809.4||G  
中央参 809.4||G|||ライティング



**タイトル** ゼミ発表、論文プレゼンに使うPowerPoint活用法：PowerPointを使った効果的なプレゼン手法を伝授  
**著者名** 尾崎公治<sup>1</sup>著, 尾崎<sup>1</sup>公治  
**ひとこと紹介** <所蔵場所、請求記号>  
中央学3F、007.63||O



**タイトル** 学生・研究者のための使える！ PowerPointスライドデザイン：伝わるプレゼン1つの原理と3つの技術  
**著者名** 宮野公樹 著, 宮野 公樹  
**ひとこと紹介** <所蔵場所、請求記号>  
・中央学3F、007.63||Mi  
・農学生図書、007.63||Mi

## 10.情報を加工し、外に伝えよう Part2

レポートやプレゼンテーションとは違う形のアウトプットを考えてみよう

### 啓発資料を作ってみよう

最近、自己啓発という言葉もよく耳にするようになりましたが、啓発とはどのようなことか皆さんはご存じでしょうか？

国語辞典の大辞泉によると、「啓発」とは、**人が気づかずにいるところを教え示して、より高い認識・理解に導くこと**を指します。

つまり、啓発資料を作る場合、それを読む相手がステップアップできるような構成を取らなければなりません。

その為、これまでに覚えてきた「理論的・説得力がある・読みやすい」といったレポートの書き方だけでは、啓発資料の作成というのは手に余るかもしれません。

そこで、ここでは人に教えるための資料の作り方を学べる資料を紹介します。

なお、ここで紹介する資料は**インストラクショナル・デザイン (ID)**という教育工学的手法の実践入門書です。

一通り読んでみれば、特に教育学部の学生にとっては得られるものも多いかと思いますが、今回の資料作成には必要ない部分もあるかと思います。なので、自分に必要と思えるところだけを「つまみ食い」して、ノウハウを活かすという使い方もよいかと思います。

(例えば、事後テストの代わりに資料の最後にクイズを入れてみたり、第6章だけ読んで資料作成の骨子に利用してみたりなど)



**タイトル** 教材設計マニュアル：独学を支援するために

**著者名** 鈴木克明

**リンク先 URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01422196&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01422196&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

図書(の章  
節)

ひとこと紹介

情報・言語 375.12||Su 資料ID:11455872

その他にも、自己啓発関連の資料を見て、構成などを勉強するのもよいかもしれません。

また、教育方法や技術を扱った資料が置いてある**375**の棚を見に行くとか何か発見があるかもしれません。

### セミナーを行おう

皆さんもセミナー(もしくはゼミナール:**seminar**)という言葉を経験となく聞いたことがあると思います。

では、セミナーとは具体的にどのようなことを行うものか、皆さんは説明できますか？

大辞泉の言葉を借りれば、セミナーとは「教授などの指導のもとに、少人数の学生が特定のテーマについて研究し、**報告・討論**するもの」です。

つまり、言ってしまうとプレゼンテーション(=報告)とディスカッション(=討論)を同時に行うのがセミナーです。

当然、普通にプレゼンテーションの用意をしたのでは、対応しきれない部分が出てくる可能性もあります。

グループワークの項でも紹介した請求記号**809.6**の討論関連の資料を読むなどして、イメージをつかんで臨むことをお勧めします。

また、**002.7**の棚には学問全般における調査法・研究法を扱っている資料があり、中には討論についても書かれているものもあります。

例えば、こんな資料があります。



**タイトル** 大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法

**著者名** 松本茂, 河野哲也

**リンク先 URL** [http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01737172&initFlg=\\_RESULT\\_SET\\_NOTBIB](http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catdbl.do?pkey=WB01737172&initFlg=_RESULT_SET_NOTBIB)

**ひとこと紹介** 中央館3F 002.7||Ma 資料ID:11583588  
中央館3F 002.7||Ma 資料ID:11779684  
情報・言語 002.7||Ma 資料ID:11605601

図書(の章  
節)

この資料で紹介しているのはディベートのやり方ですが、参考になると思います。また、一冊でレポート・プレゼン・討論について一通り扱われています。

セミナーでは討論がより深い部分にまで及ぶ可能性が高いです。

ただのプレゼンテーション以上に発表内容や関連分野を深く理解し、どういったことが議論になりそうかあらかじめ予想を立てることも重要です。

**「起点となる図書」で紹介されている資料や調査に使用した資料**をもう一度も見直して、万全の準備をしましょう。

なお、セミナーにおいては発表を聞く側にもある程度の知識が求められます。(そうでないと、討論は行えませんので)

実りある討論とするためにも、発表する側だけでなく、発表を聞く側も最低限の知識を得ておくなどの準備を行い、セミナーに臨みましょう。